

鹿老連

発行者
鹿沼市老人クラブ連合会
〒322-0043 鹿沼市万町931-1
TEL 0289-65-5191(呼)
鹿沼市総合福祉センター内

編集者
広報部編集委員会



2017年頭にあたり

鹿沼市老人クラブ連合会

会長 小島 正男

明けましておめでとうござい
ます。お健やかにご家族お揃い
で新年をお迎えのこととお喜び
申し上げます。

今年の干支は酉年であり、福
や財、人を「取り込む」とか非常に
縁起がよい年と言われています。

私は7回目、巡り合った年男で
あります。年の老いた白鳥となっ
て、夢と希望を背負い大きく羽ば
たいていくような一年でありたい
と願いながら、新しい年を迎えて
の抱負を次の通り目標としたい
と思いま

す。先ず
その一つ
として新
地域支援
事業「地
域包括ケ
アシステ
ム」の構
築であり
ます。



2025年には団塊の世代の
全てが75歳以上となり、高齢化
率が急上昇して参ります。

また、平成27年度に介護保険
法改正となり、29年度までに要介
護状態になっても地域で住み続け
ることができる社会をめざしての

「地域包括ケアシステム」の一環と
して、地域住民同士が支え合う「新
地域支援事業」が、今年全ての市町
村で取り組まれることとなります。

鹿老連としましては、全国の
市町村連合会と足並みをそろえ
て会員と、地域や関係団体など
近隣の人たちが助け合う「共助」
を大切にして、事業への参画を
呼びかけて参ります。

鹿沼市におきましても「地域ま
るごとケアのまちづくり」の実行
委員会を立ち上げ、我々高齢者
にとつては何よりも力強く感じ
ているところであります。

そして、1月21日には講演会
と座談会が開催されました。多

くの会員の参加をいただき「新地
域支援事業」の重要性を深く理解
され、行動に繋げていく手立て
とする事が出来たのではないかと
思っています。

二つ目は、仲間づくりの柱で
ある会員増強であります。

全老連の5カ年(26〜30年)計
画を実施主体として、鹿老連も「仲
間を増やそう800人」のスロー
ガンを掲げ取り組んできました。
自治会会長さん等の協力と支援
をいただき、少しずつ増加を見て
いるものの、休会クラブなどが発
生して総体的には増加に至らない
のが現状であります。しかし新年
に入り吉報のお知らせをする事が
出来ました。それは北部地区上田
町が結成の運びとなり、発起人の
方々が取りまとめ中であります。
また加蘇地区のクラブ結成が見
込まれておりますので、続けて強
力に取り組んで参ります。

以上新地域支援事業への参画
と会員増強の達成を、平成29年
新年にあたっての目標として設定
させて頂きたいと思っております。
どうぞよろしくご支援ご協力下
さいますようお願いいたします。
年頭の挨拶いたします。

支えられ、地元根付き、支え合う(老人クラブ)

鹿沼市高齢者フェスティバル

第28回 鹿沼市老人クラブ大会開催!!

1,004名の会員により盛大に開催!!



鹿沼市高齢者フェスティバル・第28回鹿沼市老人クラブ大会が、平成28年11月16日晴天に恵まれたこの日に、鹿沼市市民文化センター大ホールに於いて行われました。午前9時40分の開会時には1,004人の参加者で会場は満席の大盛況で始まり、県議会議員・市

議会議員をはじめ多くのご来賓のご臨席を賜り、主催者として佐藤市長より、鹿沼市高齢者福祉施策と社会貢献に対する感謝と期待が述べられ、特に全国的な会員減少に触れられ、行政の支援・協力について力強い挨拶を頂きました。

小島会長からは今日までの会務・活動報告並びに、今後の大きな課題である会員増強は、本老連の「800人増強」であり、各位の理解と協力が不可欠であると、決意を示されました。次いで各種表彰が行われ、優良クラブ・栄町3丁目ほほえみ倶楽部・老人クラブ育成功労者に6名の方が受賞されました。来賓の方々からは受賞の祝意と老人クラブに対する期待と激励を受け、「大会宣言」が満場一致で採択され、式典は盛大に終わりました。続いて行われた、芸能発表は午前10時45分から午後2時45分まで、15地区で延べ270余名が29種目のカラオケ・民謡・詩吟・合唱・舞踊等々日頃練習の成果を披露され会場を盛り上げてくれました。最後に、会場全員での「いつでも夢を」の合唱は心に残る一頁となって来年に繋いで頂きました。

総務部 部長 高橋 充

スポーツ大会について

健康増進部 部長 阿部 仁一

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

平成二十八年度のスポーツ大会は天候にも恵まれ楽しい大会ができました。役員会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

交通安全グラウンドゴルフ大会・新スポーツ大会は前回



の八十八号の会報で報告しましたので今回は十月十三日の県大会と十月十八日の秋のスポーツ大会を報告致します。

参加八〇〇名の県大会では輪投げで若林三雄選手(北犬飼)が二六二点で個人三位と健闘されました。

十月十八日の秋のスポーツ大会で個人戦が行われ、輪投げ一位 小杉国市選手(北犬飼) 二六二点、二位 小林菊二郎選手(北犬飼) 二四九点、三位 高山芳夫選手(東大芦) 二四七点を獲得。

グラウンドゴルフでは一位 木村欣一選手(東大芦) 六六、二位 小太刀敏雄選手(南摩) 七二、三位 宮崎勝二選手(北押原) 七三で入賞されました。

二十八年度の事業としては体力測定が三月に予定してあ

ります。

各協議会の参加をお待ちしております。

二十九年度も楽しい老人ク

活動状況について

女性部 部長 鈴木 康子

28年度は、充実した活動が出来たと思います。今年初めて女性部の輪投げ・グラウンドゴルフ大会を実施したが、

参加された会員から「楽しく競技が出来て、新しい仲間が増えた」と、喜んでくれ、仲間意識の高揚をはかりました。

10月30日、県庁の広場で県の農政課主催の《食と農のフェスティバル》が開催され、県のブランド食品が展示即売され、素晴らしい行事で、その中に野外ステージが設けられ、出演者は、鹿沼民謡民舞の会と女性部員の参加により、貴槍や踊り(ぶつつけ秋祭り)を披露し熱心に鑑賞い

ラブの大会をめざして健増部員頑張りますので会員の皆様のご協力宜しくお願い申し上げます。

ただいたことが満足につながったひとときでした。

また、11月12日には県と栃木県老人施設協議会主催で《介護の日フェスティバルinけんちょう》が開催され、高齢化が進む地域社会において、特に在宅高齢者に対する生活支援や介護予防の活動について老人クラブへの期待が大きいことから、県老連も共催団体としてテント内に啓発ブースを出し、広報誌やチラシを配布、また県民広場に設けられた特別ステージで全国老人クラブ統一の《いきいき体操》そして《パドル体操》を県福祉課から依頼され披露しました。

今後、残された事業として
尊い命を救うために今、公共
施設やデパートとあらゆると
ころに設置されている救急器具
『AED』を聞いてはいるが見
たこともない。せつかく厳しい
予算の中から、設置されている
AEDを市民として利用できな
いのは残念です。救急車が来る

創作展ご協力御礼

創作部 部長 井上 一男

までの対応(電話の掛け方・A
EDの使い方・心肺蘇生)の研
修会を開催する事にしました。
25名の参加で2月7日鹿沼消
防本部会場で消防職員を講師
に迎え、勉強することになりし
た。3月には友愛訪問で千寿
荘を訪問し、会員である施設の
仲間と交流を予定しています。

毎年恒例の鹿沼市老人クラ
ブ大会並びに鹿老連フェス
ティバルが、十一月十三日に
市民文化センターで盛大に開
催されました。

式典に引続き各地区選抜の
演芸が始まり、同時に地下展示
室において鹿老連会員による作
品展示会も開催されました。

今回は、例年に比し出品作
品も多く一六〇点余となりました。
これも会員皆様方の常日
頃のご努力、ご協力の賜物と

深謝しております。又、何れの
作品も立派で審査員の方々も
大分苦勞していたようです。

出展者の方達は、日々前向
きに行動し、生きがいのある
人生を送られていることと痛
感しております。

県老連の優秀作品展示会
は、昨年は会場の都合で中止
されましたが、今年度は八月
八日〜一〇日迄、宇都宮市文
化会館で開催が決定しており
ます。今回金、銀、入賞作品



第42回鹿沼市老人クラブ創作作品展示会 入賞者
平成28年11月16日(水)

部門	金賞	銀賞	銅賞
書道	小野口 博	石川ツルヨ	藤沼 敏子
絵画 絵手紙	増淵 博明	高村 マサ	藤田 マサ 横山 タカ
写真	大貫 辰郎	奈良 政雄	若林 精典
彫刻 工芸 工作 陶芸	川津 伸一	石田 忠 荒井 勝美	福田 政男 栃木 光男
手芸	石川 悦子	田崎 久子	寺内 泰子 上沢 光子 坂田 コウ

は展示されることになってお
りますのでご期待ください。
どうぞ、次回からも今回以
上のご指導、ご協力を賜りた

くお願い申し上げます、会員皆様
方のご健勝、ご活躍を心から
ご祈念いたし、御礼のご挨拶
といたします。

広報部

広報部 部長 増淵 太吉

「広報部からのお願い」

退任される自治会関連役員の方々へ
高齢期を楽しく、生きがいを
もって、安心して暮らしてゆくた
めには健康で自立し、身近な仲間

と支えながら、住みよい地域を作
り進めて行くことが重要で、今日
四人に一人は高齢者、人生二〇〇
年時代を迎えて老人クラブ活動
に対する期待が大きくなってい

る事はご承知の通りと思います。

しかし現況は会員数は年々減少傾向にあり増員運動も苦戦を強いられている中で、元気で活発なクラブは①若手会員が入り今まで会員だった八〇代以上の負担を軽減する事ができた、②若手会員が各部のリーダー役になりリーダーの世代交代が出来た、③会員の六〇代と八〇代が一緒に活動出来る場を提供するようになった、など改善された所では、

元自治会長・元支部長さんが原動力となり、対象者のいる家を各戸別訪問して一緒に楽しみながら、健康維持のための行事に参加してやろうよ」と熱心に説得し入会を勧めて頂いた新設クラブもあります。ぜひこの三月期で退任される、自治会関係の役員の方にはリーダーシップを発揮され、我々の仲間入りに、力を貸して下さいと思います。

元自治会長・元支部長さんが原動力となり、対象者のいる家を各戸別訪問して一緒に楽しみながら、健康維持のための行事に参加してやろうよ」と熱心に説得し入会を勧めて頂いた新設クラブもあります。ぜひこの三月期で退任される、自治会関係の役員の方にはリーダーシップを発揮され、我々の仲間入りに、力を貸して下さいと思います。



中央地区

寺町老人クラブ高砂会

寺町老人クラブ高砂会 会長 黒浜 利夫

会員数34名(男性9名 女性25名)

事業

総会花見

輪投げ大会・雲龍寺えんま堂清掃

出前講座・資源ごみ回収

日帰り旅行・新年会

友愛訪問(誕生日記念品配布)

ホットサロン

おたのしみ会(月2回)

その他

中央地区老人クラブお楽しみ会

鹿沼市高齢者スポーツ大会

鹿沼市老人クラブ大会

鹿沼市高齢者フェスティバル

(作品出品 昨年銀賞)

課題 会員の減少・高齢化による事業推進に苦慮しています。

役員の選出も困難です。昨年は、会長・会計になる人がいないという状態で、老人クラブ廃止の話もありました。しかし、話し合いの中で継続を希望する声が多かったので私が会長を引受けた次第です。今後は、町内にホットサロンおたのしみ会代表 石田 忠氏)がありますので、そちらの協力を得ながら将来を見据えたいと思っています。

老人クラブで思う事

一般に時間(余暇)があります。高齢者向きの遊び方は、次のようなものがあります。

東部地区

府中町たつみ会の活動

府中町たつみ会 守川キヌ子

府中町たつみ会が発足して八年になります。会員数は女性二〇名男性一三名です。もう八年にもなると思うこの頃ですが会員同志仲良く楽しく活動出来ている事が何

旅行・名所旧跡・観光地・お祭り・観劇・芸能・音楽・カラオケ・展覧会・芸術・絵画・書道・手芸・工作・食へ歩き・読書・趣味のサークル・将棋・囲碁・ゲートボール・グラウンドゴルフ等
*ただ残念なことに近くに指導者・リーダーがいらない。

今日より明日、一年後、今より良くなりたいと思います。楽しみながら、何かに取り組むではと思います。上手になりたいと思うと、創意工夫をします。(ポケ防止) いろんな事を知って、いろんな人と知り合う。(心が豊かになる) 地元地域に貢献する。自治会館を利用し、いろんなサークルが出来る事を希望しています。

よりも嬉しく思います。事業としては新年会、カラオケ、親睦旅行、奉仕作業、輪投げ大会、出前講座、老人ホーム慰問等沢山あります。又きれいな街づくり事業として府



東部台地区には十の単位クラブがあり活動は、鹿老連各行事参加、輪投げ、グラウンドゴルフ、親睦旅行、新春の集い、体力測定等々です。我々「ときわ会」では、グラウンドゴルフ週二回練習しています。周辺クラブから二十五名前後の方が集まり楽しい時間を過ごしております。

十一月は東部台地区で北茨城

東部台地区

東部台地区活動状況

栄町一丁目ときわ会 武藤 義夫

中橋東側の花壇の手入れ及び周辺の除草等をしていきますがローテーションを組んでの散水当番は一番寒さの厳しい時期なので大変ですが頑張っています。鹿老連での高齢者フェスティバルでは一昨年より三地区「府中、貝島、上野」合同で踊りを披露しましたがその練習の過程で他町内との交流が出来又絆も一層深まりました。今

度「輪投げ大会も一緒にしましょう。」と言うお話もあるそうです。参加する事によって刺激を受け脳の活性化にもなると思っております。多くの人との出逢いがありその会話の中から学ぶ事も沢山ありました。これからは健康に気を付けてかけがえのない仲間との出逢いを大切に、感謝の気持ちを忘れず、活動が出来れば幸せに思います。

の「まるみつ旅館」への旅行を実施しました。阿部協議会長を始め二〇名の参加です。



野口雨情生家、浜辺の散歩、買い物等時間的にもゆつくりできました。旅館で昼食、宴会、そして二日目の昼食と三回食事をし、新鮮な海鮮料理で皆さんのお酒もはかどったように楽しい旅行でした。

板荷地区

幸楽会の活動について

板荷七区幸楽会 会長 阿部トミ子

老人クラブ加入状況は、東部台地区、六十五歳以上約三二〇〇名(男一五〇〇名、女一七〇〇名)会員数約三〇〇名(加入率九%)です。鹿老連では八〇〇名の会員

増加を目標にしていますが、東部台地区でも会員の増加を地区一体となり推進していければと考えております。他地区と同様、東部台も活性化された協議会です。

私の所属する七区幸楽会は、男性三名、女性八名の十一名で構成されており、板荷地区内で最も小さなクラブです。活動の主なものを紹介すると、孫達の通学路の整備や、道路沿いの空き缶拾いなど、当地域における環境整備の一翼を担っています。

更には、自治会公民館内外の清掃についても、全会員の参加のもとに定期的に年四回実施しています。これらの活動をする反面、楽しむことも実施しています。

具体的には「お楽しみ会」を出会いの森公園の温泉にひたり、仲間同士で話し合いながら日頃の疲れを癒しています。また、我が家の庭園を利用しての「お茶会や昼食会」を通して会員相互の親睦を深めています。



最後になりますが、これらの取り組みにより「小さいながらも楽しい我が家」づくりのために頑張っ

南摩地区

「室内ゲーム大会」について

南摩地区 荻原 唯夫

私達南老連では、年七回の「ふれ合い教室」の開講式の前に、「室内ゲーム大会」を行なっています。

これは、私の持っているオモチャを使って七単位クラブ対抗戦の形式で行なわれるもので毎年白熱した試合が繰り広げられています。

運に左右されるもの、手先の器用さを競うもの、脳を刺激するもの等ゲームも多種多様で「ボケ防止に大変役立つ」と好評を得て居ります。

今後新しいオモチャを少しずつとり入れ、飽きられないように努め、グラウンドゴルフやゲートボール、その他の活動と肩を並べる程に、老人会の皆様に楽しみにしていただけの大会に成長させていきたいと考えて居ります。



また他の老人クラブから御用命があれば、いつでも、どこへでも出張させていただきますので、イベント等の際に御用命いただければ、光栄に存じます。

南押原地区

ミニ大会・月一回開催!!

寿町寿楽会 石川 侑三

寿町のグラウンドゴルフ会は、女性8名、男性10名が参加してまゝです。練習は毎週水曜日の午前と金曜日の午後の2回です。毎回皆さんで和気あいあい楽しくプレーしています。

グラウンドゴルフはとも意外性のあるスポーツで、なかなか思い通りには行きません。その中で、特にポールポストに1打で入れた時は、とても痛快で、思わず周りの人に喚声を上げてしまう程です。ホールイン・ワンです。そこで、副会長鈴木健治さんの発案で、50mのホールイン・ワンには賞品を出すことにしました。興味が一段と高まります。

もう一つ、鈴木健治さんの発案があります。月一回ミニ大会を行うことです。もう10年以上も続いています。毎月末頃に実施し、5月に一年の成績で新ハンディを決めます。初心者でも興味を失わないように、楽しくプレーして、技を磨きます。次の表は、前年度のミニ大会の

寿楽会グラウンドゴルフ成績と新ハンディ

氏名	A氏	B氏	C氏	D氏	E氏	F氏	G氏	...
当初	6	2	0	5	8	13	18	
現在	1	1	1	5	2	7	3	
6月								
7月	88	88	80	89	89	93	92	
8月								
9月								
10月	78	76	84					
11月	84	85	80					
12月	81	79						
1月								
2月								



成績と新ハンディの一部です。このように、大会の成績を表にしてみると、段々と自分の腕が上がつて行くのが分かり、一層練習の励みにもなります。

す。ミニ大会、皆さんも似たようなことをやってみてはいかがですか？

永野地区

さわやか会新年会

沢坪さわやか会 川田 宏美

当会は平成二十六年に誕生、現在会員数は二十九名です。

毎年新年会等の行事や事業を行っています。今年の新年会は平成二十九年一月二十八日に鹿沼市の出会いの森で行いました。会員の高齢化が進む中で、これからの老人の生き方の話し合い、また健康で生きる為にはと、栃の木病院から頂いた本をもとに、高血圧や

塩分の取り方なども皆で話し合いました。一時間程しっかり話し合いをした後、余興に入り、カラオケ大会などでコミュニケーションを図り、参加した全員が楽しい一日をすごしました。

これからも、こうした活動を通じて団結を強め、楽しい日々が送れるようにしていきたいと思っています。



平成二十九年一月三十一日 北犬飼津田長寿会

深まりし秋の日曾孫生まれたり

墨たつぷりと「樹」と記す

小さくも根性ありし「樹」なり

大きな声で自己を主張す

田崎 テル

冬枯れの庭に椿の蕾見ゆ

口紅のごとややに色さす

移植せし水仙白き芽の伸びて

寒いだろうとそっと土よす

篠崎 クニ

平凡に暮らす四季折々に

庭を眺めて胸のときめく

戦争の時代を共に過ごしたる

友の作りしなんてん温し

山口 トキ

揺れ動く我が身の心おさえつつ

離れて暮らす孫の便りに

手を握り寄り添いながら語り掛け

ベットの途中で姉の笑顔に

増淵 悦子

編集後記

広報紙も時代と共に進歩して皆さんに注目され、期待される機関紙として、老人クラブ育成の手助けになればと、常日頃仲間と、話し合っているのですが結果報告が多くを占めているように、思われます、いかがでしょうか。結果報告も重要事項ですが、自分のクラブの紹介が充分にできたでしょうか。自治会との仲間作り運動・趣味・リクレーションの生きがい作り運動・健康づくり運動等で説明不足している部分を、この広報紙で捕捉し、勧誘活動に活用して頂ければ幸いです。

編集員一同

